

質疑者 北山 順一 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>2. ウォーターフロントにおける自転車道の整備について</p> <p>芦屋から明石まで、ウォーターフロントを横断する快適な自転車道路を整備し、神戸のまちを風で感じてもらうてはどうかと提案してきた。</p> <p>近年、環境への配慮という観点から、世界的に自転車が注目されており、神戸市でも10月から「KOBEMachi・ちゃりシャトル」という電動自転車を使用した社会実験が始まっている。</p> <p>この取り組みをさらに進め、「健康を楽しむまちづくり」「デザイン都市」そして「低炭素都市」にもマッチし、他都市のモデルになるような自転車専用道路のネットワークを整備すべきと考えるが、どうか。</p> <p>その取り組みへの第一歩として、例えば栄町通では、コインパーキングがいっぱいあるが、あの一車線は自転車専用道路にしてもなんの差し支えもないと考えられる。「路上パーキング」を自転車専用道路に転換をはかってはどうか。</p>	<p>局 長</p>	<p>委員からは明石から芦屋までの大ウォーターフロント構想について提案をいただいております、さわやかな神戸の風を感じてもらってはどうかという提案だが、自転車は低炭素社会の実現に寄与する環境負荷が少ない交通手段であり、健康志向の高まりなどから、安全で快適な自転車道の整備が求められている。</p> <p>本市の自転車道としては、市街地及び西北神で計31.7kmが整備されているが、本市のウォーターフロントを横断する神戸のまちを風で感じる自転車道は大変魅力的な提案だと思っている。</p> <p>次期基本計画における「総合交通環境の形成」において「自転車の利用環境の整備に取り組む」としてしており、現在審議中の重点施策計画にも事業として盛り込んでいきたいと考えているところである。</p> <p>「KOBEMachi・ちゃりシャトル」の社会実験が行われているが、かなり人気を博しているようだ。</p> <p>建設局において、路上パーキングの転換も含めて、走行空間がバランスよく配置されるよう「(仮称)自転車走行空間整備計画」の平成23年度の策定を目指しており、一部で整備に着手することもあり、企画調整局としては、自転車利用環境の整備が建設局で充分に取り組んでいただけるように充分に調整してまいりたいと考えている。</p>
<p>(再質問)</p> <p>神戸市内の移動は自転車してほしいと言えるくらい自転車専用道路を整備してほしい。神戸市内の移動の5割は自転車にしてもらうキャンペーンができるくらい取り組んでいただきたいがどうか。</p>	<p>局 長</p>	<p>二つのご指摘をいただいております、芦屋から明石までの大自転車道の整備と、市内の移動の50%を自転車にということであるが、二兎を追うものは一兎をも得られないといったことでもあるので、少なくともまちちゃりプロジェクトの動向も見ながら、低炭素社会の実現にもつながるので、いろいろと頑張ってまいりたいと考えている。</p>